



No. 4 - 1

平成 28 年度

主要事業の概要

地方創生戦略 編

説明資料

豊岡市 政策調整部 財政課

主要事業の概要

(目次)

No.	戦略、手段	事業名	ページ
		地方創生の戦略体系 戦略目的A 暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている	4
		地方創生の戦略体系 戦略目的B 多くの子どもでにぎやかな家庭を持つ若者が増えている	5
		地方創生事業の事業別予算概要	6
1	A	0101 0102 0106 移住定住促進プロモーション戦略事業【新規】	7
2	A	0301 外国人観光客プロモーション事業【継続】(※) (海外戦略推進事業)	8
3	A	0102 0104 労働力確保支援事業【拡大・継続】	9
4	A	0301 外国人観光客動向分析・PR事業【継続】 (海外戦略推進事業) 《地域再生》	10
5	A	0103 0205 0304 芸術文化担当参与の設置【継続】	11
6	A	0103 0205 城崎国際アートセンター運営体制の充実【継続】 (プログラムディレクター等の配置) 《地域再生》	12
7	A	0106 移住定住促進事業【新規】	13
8	A	0201 特産振興事業【継続】 (革製鞆等生産能力育成) 《地域再生》	14
	B	0104	
9	A	0201 企業誘致の推進【拡大】 (工場等賃借料補助)	15
	B	0104	
10	A	0201 環境経済事業推進事業【継続】 (販路拡大) 《地域再生》	16
11	A	0201 コウノトリ育む農法推進事業【拡大】 (無農薬栽培実証事業、新品種試験栽培実証事業)	17
12	A	0201 コウノトリ育む農法推進事業【継続】 (無農薬栽培チャレンジ事業、有機育苗システム構築 実証事業) 《地域再生》	18
13	A	0201 コウノトリ育むお米ブランド化推進事業【継続】 (新米キャンペーン開催事業等)	19
14	A	0201 0302 コウノトリ育むお米ブランド化推進事業【拡大】 (海外販路の開拓) 《地域再生》	20
15	A	0201 特産振興事業【拡大】(※) (鞆産業強化:プロモーション戦略等)	21
16	A	0202 空き店舗等開業支援事業【拡大】	23

No.	戦略、手段		事業名	ページ
17	A	0202	豊岡農業スクール開校事業【継続】	24
18	A	0202	新規就農総合支援事業【継続】 (青年就農給付金)	25
19	A	0202	新規就農総合支援事業【拡大】 (若手農家支援、豊岡農業体験等)	26
20	A	0202	コワーキング豊岡整備事業【新規】	27
21	A	0203	地域マネージャーの養成【継続】	《地域再生》 28
22	A	0203 0205 0403 0404	芸術文化情報発信事業【新規】	29
23	A	0205	文化芸術振興計画の策定【新規】	30
24	A	0205 0302 0303	文化芸術創造交流事業【新規】	31
25	A	0301	豊岡DMO設立事業【新規】(※)	32
26	A	0301	観光動態見える化事業【新規】(※) (観光客移動調査)	35
27	A	0301	インバウンド受入体制整備計画の策定【新規】(※) (海外戦略推進事業)	36
28	A	0301	夢但馬周遊バス運営事業【継続】	37
29	A	0301	京都丹後鉄道特急車両魅力アップ事業【継続】	38
30	A	0301	但馬空港利用促進事業【新規】	39
31	A	0301	城崎温泉街交通環境改善事業【継続】	《地域再生》 40
32	A	0303	地域プロデューサーの配置【継続】	《地域再生》 41
33	A	0303	地方創生戦略評価事業【継続】	42
34	A	0401 0402	ふるさと教育推進事業【新規】	43
35	A	0304 0403	英語教育推進事業【拡大】	44
36	A	0304 0403	コミュニケーション教育推進事業【継続】	45
37	A	0403	英語遊び保育推進事業【継続】	46
38	A	0303 0404	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭 開催事業【拡大】	47

No.	戦略、手段		事業名	ページ
39	A	0405	こども支援センター機能拡充事業【継続】 (モデル校区研究授業)	48
40	A	0405	家庭教育推進事業【継続】 (FMジャングル 夢チャレンジ)	49
41	B	0101 0102	結婚促進支援事業【拡大】 (婚活イベント)	50
42	B	0101 0102	出会い機会創出事業・結婚促進体制整備事業【新規】	51
43	B	0201	母子保健事業【新規・拡大】 (特定不妊治療助成等)	52
44	B	0202 0203	ファミリー・サポート・センター事業【新規】	53
45	-	-	地方創生推進費	54

注1 No.2、No.15、No.25～No.27の事業は、地方創生加速化交付金(補助率10/10)の交付対象に決定された場合は、平成27年度予算に組替え補正する場合があります。

注2 地域再生戦略事業費に予算計上しているものは、事業名欄に《**地域再生**》と表記しています。

○ 地方創生の戦略体系

上位目的		豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている
戦略目的A		暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている
主要手段ー具体的手段		H28事業（※主以外に関連する項目がある場合、（再掲）で記載）
手段A 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信）	
01-01	様々なメディア等で豊岡が取り上げられている	移住定住促進プロモーション戦略事業（情報発信イベント）
01-02	WEBやSNS等で豊岡の情報が共有されている	移住定住促進プロモーション戦略事業（プロモーション戦略、情報発信ツールの作成）、労働力確保支援事業（ジョブナビ豊岡機能強化）
01-03	豊岡の魅力を語る人々が世界中にいる	芸術文化担当参与の設置（再掲）、城崎国際アートセンター運営体制充実（ディレクター等の配置）（再掲）
01-04	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	労働力確保支援事業（豊岡UIJターン就職促進、豊岡UIJターン企業研究会、豊岡を語る会（仮称））
01-05	豊岡とのつながりを楽しむ「関係人口」が増えている	移住定住事業
01-06	移住に必要な情報が得られるワンストップ窓口がある	移住定住促進プロモーション戦略事業（豊岡暮らしカフェ）、移住定住促進事業（ワンストップ窓口設置、移住定住者支援の仕組みづくり、トヨオカム塾、定住宅リフォーム補助、暮らし体験会、現地案内等支援）
手段A 02	人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化）	
02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている	特産振興事業（産産強化：プロモーション、インターン実施支援、技術指導実施支援、革製靴・革小物生産能力育成）、企業誘致推進事業、環境経済事業推進事業（販路拡大）、コウノトリ育む農法推進事業、コウノトリ育むお米ブランド化推進事業
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	空き店舗等開業支援事業、豊岡農業スクール開校事業、新規就農総合支援事業（青年就農給付金、若手農家支援、豊岡農業体験、親方農家発掘）、コワーキング豊岡整備事業
02-03	人とつながり、支え合う喜びを感じる人が増えている	地域マネージャーの養成、芸術文化情報発信事業（インターンシップ受入）
02-04	自然とのつながりを楽しむ人が増えている	山陰海岸ジオパーク周遊キャンペーン事業
02-05	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている	芸術文化担当参与の設置、城崎国際アートセンター運営体制充実（ディレクター等の配置）、文化芸術振興計画策定、文化芸術創造交流事業（文化施設等連携事業）、芸術文化情報発信事業（KIACレクチャーシリーズ、芸術文化情報放送）
02-06	外から豊岡とつながり、行き来して暮らす人が増えている	
手段A 03	豊岡で人々が世界と出会っている（ローカル&グローバル）	
03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	豊岡DMO設立事業、観光動態見える化事業（観光客移動調査）、インバウンド受入体制整備計画策定、外国人観光客プロモーション事業（海外戦略推進事業：外国人客向け無料Wi-Fiスポット整備、旅行博出展、海外情報発信拠点設置、WEB広告、WEB解析・サイト改善、外国語版サイト経理システム開発、着地型パンフレット作成）、外国人観光客動向分析・PR事業（海外戦略推進事業：ユーザー属性情報取得・分析、WEBショートムービー作成）、夢但馬周遊バス運営事業、山陰海岸ジオパーク周遊キャンペーン事業（再掲）、京都丹後鉄道特急車両魅力アップ事業、但馬空港利用促進事業（JALプロモーションコンテンツ制作・配信、国際都市おたフェスティバル）、城崎温泉街交通環境改善事業
03-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	コウノトリ育むお米ブランド化推進事業（再掲）、文化芸術創造交流事業（豊岡発のアート作品上演）
03-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催事業（再掲）、文化芸術創造交流事業（市民プラザ事業）、地域プロデューサーの配置、地方創生戦略評価事業
03-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	芸術文化担当参与の設置（再掲）、英語教育推進事業（小中一貫教育）（再掲）、コミュニケーション教育推進事業（小中一貫教育）（再掲）
手段A 04	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）	
04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	ふるさと教育推進事業（ローカル&グローバル学習の副読本等作成）
04-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	ふるさと教育推進事業（但東中学校MISSION IN TOKYO）
04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる	芸術文化情報発信事業（子どもたちと外国人とのコミュニケーション推進）、英語教育推進事業（小中一貫教育）、コミュニケーション教育推進事業（小中一貫教育）、英語遊び保育推進事業
04-04	子どもたちの想像の翼、行動の翼が世界に羽ばたいている	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催事業、芸術文化情報発信事業（学校へのアーティスト特別派遣）
04-05	まちを挙げて子どもたちの育ちを応援している	こども支援センター機能拡充事業（モデル校区研究授業）、家庭教育推進事業（FMジャングル夢チャレンジ）

○ 地方創生の戦略体系

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている	
戦略目的B	多くの子どもでにぎやかな家庭を持つ若者が増えている	
	主要手段－具体的手段	H28事業（※関連する項目がある場合、（再掲）で記載）
手段B 01	若い夫婦の数が増えている	
01-01	多種多様な出会いの機会が充実している	結婚促進支援事業（婚活イベント開催、結婚相談員マッチング）、出会い機会創出事業（企業間等婚活イベント支援、ラジオ局婚活イベント誘致）
01-02	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	結婚促進体制整備事業、結婚促進支援事業（婚活セミナー開催）、出会い機会創出事業（婚活テレビ番組誘致調査）
01-03	若者が集い、交流する場が増えている	
01-04	安定した雇用が増えている	特産振興事業（産産業強化）、企業誘致推進事業（いずれもAの再掲）
手段B 02	夫婦一組あたりの子どもの数が増えている	
02-01	出産を支える仕組みが整っている	母子保健事業（特定不妊治療助成等）
02-02	子育てを支える仕組みが整っている	ファミリー・サポート・センター事業
02-03	女性も働きやすい環境が広がっている	ファミリー・サポート・センター事業（再掲）

■ 平成28年度 地方創生事業の事業別予算概要

(単位：千円)

主要手段（2桁）	No.	事業名	予算額	担当課名
○戦略目的A 【A-01】 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信） 【A-02】 人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化） 【A-03】 豊岡で人々が世界と出会っている（ローカル＆グローバル） 【A-04】 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）	1	移住定住促進プロモーション戦略事業	40,542	大交流課
	2	外国人観光客プロモーション事業（海外戦略推進事業）	10,437	大交流課
	3	労働力確保支援事業	10,707	エコバレー推進課
	4	《地域再生》外国人観光客動向分析・PR事業（海外戦略推進事業）	6,500	大交流課
	5	芸術文化担当参与の設置	1,800	生涯学習課
	6	《地域再生》城崎国際アートセンター運営体制の充実（デイルカ等配置）	19,286	大交流課
	7	移住定住事業	134	大交流課
	8	移住定住促進事業	9,415	大交流課
	9	《地域再生》特産振興事業（革製靴等生産能力育成）	13,550	エコバレー推進課
	10	企業誘致推進事業	2,000	エコバレー推進課
	11	《地域再生》環境経済事業推進事業（販路拡大）	2,200	エコバレー推進課
	12	コウノトリ育む農法推進事業（無農薬栽培実証等）	2,903	農林水産課
	13	《地域再生》コウノトリ育む農法推進事業（無農薬栽培チャレンジ等）	9,104	農林水産課
	14	コウノトリ育むお米ブランド化推進事業（新米キャンペーン等）	3,430	農林水産課
	15	《地域再生》コウノトリ育むお米ブランド化推進事業（海外販路開拓）	7,300	農林水産課
	16	特産振興事業（靴産業強化：プロモーション戦略等）	47,104	エコバレー推進課
	17	空き店舗等開業支援事業	18,008	エコバレー推進課
	18	豊岡農業スクール開校事業	11,160	農林水産課
	19	新規就農総合支援事業（青年就農給付金）	9,000	農林水産課
	20	新規就農総合支援事業（若手農家支援、豊岡農業体験等）	14,938	農林水産課
	21	コワーキング豊岡整備事業	95,040	エコバレー推進課
	22	《地域再生》地域マネージャーの養成	1,296	コミュニティ政策課
	23	芸術文化情報発信事業	1,697	大交流課
	24	山陰海岸ジオパーク周遊キャンペーン事業	1,490	大交流課
	25	文化芸術振興計画策定	2,591	文化振興課
	26	文化芸術創造交流事業	24,899	文化振興課
	27	豊岡DMO設立事業	56,214	大交流課
	28	観光動態見える化事業（観光客移動調査）	3,996	大交流課
	29	インバウンド受入体制整備計画策定（海外戦略推進事業）	2,000	大交流課
	30	夢但馬周遊バス運営事業	4,757	大交流課
	31	京都丹後鉄道特急車両魅力アップ事業	4,394	都市整備課
	32	但馬空港利用促進事業	11,250	都市整備課
	33	《地域再生》城崎温泉街交通環境改善事業	5,126	建設課
	34	《地域再生》地域プロデューサーの配置	31,650	エコバレー推進課
	35	地方創生戦略評価事業	4,710	政策調整課
	36	ふるさと教育推進事業	15,910	こども教育課
	37	英語教育推進事業	1,502	こども教育課
	38	コミュニケーション教育推進事業	1,189	こども教育課
	39	英語遊び保育推進事業	5,759	こども育成課
	40	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催事業	8,220	生涯学習課
	41	こども支援センター機能拡充事業（モデル校区研究授業）	354	こども教育課
	42	家庭教育推進事業（FMジャングル 夢チャレンジ）	810	こども育成課
	43	農産物認証制度事業	3,900	農林水産課
	44	森林再生戦略策定事業	6,788	農林水産課
戦略目的A合計（44事業）			535,060	
○戦略目的B 【B-01】 若い夫婦の数が増えている 【B-02】夫婦一組あたりの子どもの数が増えている	45	結婚促進支援事業（婚活イベント）	8,207	社会福祉課
	46	出会い機会創出事業	2,995	社会福祉課
	47	結婚促進体制整備事業	267	社会福祉課
	48	母子保健事業（特定不妊治療助成等）	19,400	健康増進課
	49	ファミリー・サポート・センター事業	328	こども育成課
戦略目的B合計（5事業）			31,197	
	50	地方創生推進費	8,164	地方創生課
総計（50事業）			574,421	

※No.19、No.25、No.40、No.50の4事業については、予算執行の都合上、担当課の予算科目に計上している。

その他事業は、「地方創生戦略事業費」及び「地域再生戦略事業費」に計上。

※No.2、No.16、No.24、No.27～No.29の6事業は、地方創生加速化交付金（国H27.3補正・補助率10/10）申請。

No.1	事業名	移住定住促進 プロモーション戦略事業	28 年度 予算額	40,542 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0101、0102、0106				

1 事業目的（趣旨）

豊岡市が移住意向者にしっかりと認知され、移住定住先として選択肢に入るため、豊岡らしい地域の価値に重点を置いた「実体（リアリティ）」を情報発信していく。地域の仕事・住い・暮らし等のリアルな情報を市民の方々と協働して伝え、効果的なプロモーションを行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

豊岡のターゲット層が集まる専門媒体でのPR活動と豊岡の暮らしを伝えるイベント、パンフレットや動画等、ターゲット層に響くPR素材の作成を行い、移住定住先としての豊岡の認知や興味を広げていく。

(2) 事業期間

平成 28 年度～

(3) 事業主体

豊岡市



3 28 年度予算

(1) 予算額

40,542 千円（地方創生推進交付金
補助率：交付対象額の 1/2）

(2) 事業内容

①プロモーション戦略 26,939 千円

豊岡を認識してもらい、移住へと誘導する活動を、WEB マガジンや SNS などの各種メディアを使ったPR活動を行う。

②情報発信ツールの作成 7,507 千円

パンフレット、ポスター、動画、WEB サイト等の作成

③豊岡暮らしカフェ（移住相談会）の開催 1,601 千円

暮らしの今を伝える先輩移住者の話や暮らしのリアルな情報を伝える相談会を大阪で開催

④移住定住を促進するための情報発信イベント（豊岡エキシビション）の開催

4,495 千円

移住意向者への認知を上げるとともに、移住定住先として選択肢に入ることを目的とした情報発信イベントを開催

担当課名【大交流課】（内線 2321）

施策体系番号 3-3-1-1

No.2 事業名		外国人観光客プロモーション事業（※） （海外戦略推進事業）	28 年度 予算額	10,437 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0301				

1 事業目的（趣旨）

本市を訪れる外国人観光客は、城崎温泉を中心に毎年大幅に増加しており、平成 27 年は年間 34,318 人と昨年の 15,231 人と比較し、約 2.3 倍の宿泊者数を記録した。2020 年に市全体で 10 万人の外国人宿泊客数の目標を達成するため、ターゲットとしている欧米豪市場へのプロモーションに加えて、成長著しい東南アジア市場からの誘客を目指した取組を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

海外市場での認知度向上を目指す長期的視点に立った活動と、単年ごとの宿泊客数に関する目標値を設定し、計画的に宿泊客数増加を目指す活動の 2 つ視点で戦略的に事業を展開する。

- 海外及び国内での旅行エージェント・メディアへのプロモーション活動
- WEB（オンライン）での販売促進及びデータ解析
- 外国人観光客の受入体制整備

(2) 事業期間 平成 27 年度～

(3) 事業主体 豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額 10,437 千円

（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

(2) 事業内容

- 海外ターゲット市場に情報発信拠点を設置
ターゲット市場である欧米豪の 3 市場に観光レップを設置し、現地メディア・旅行エージェントに対する情報発信、セールス及びプロモーション活動を実施する
※観光レップ：Representative の略。海外における PR 代行業
- WEB 上での販促活動
外国語版ホームページ「Visit Kinosaki」の WEB プロモーションを実施する。
- 着地型パンフレットの作成
城崎温泉を拠点とした周遊ルートを提案するパンフレットを作成し、外国人観光客の市内での回遊性を高める。
- 外国人向け無料 Wi-Fi の整備
外国人観光客の通信環境の整備と属性や動態などの客観データ取得を目的に、Wi-Fi のアクセスポイントを整備する。

4 その他参考事項

地方創生加速化交付金実施計画提出事業

担当課名【大交流課】（内線 2321）

施策体系番号 3-1-2-3

No.3	事業名 労働力確保支援事業	28 年度 予算額	10,707 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0102、0104			

1 事業目的（趣旨）

市内企業の会社概要、業務内容等を、大学・短大・専門学校等の学生に広く周知することにより、若年者の UIJ ターン就職の促進を図る。

2 28 年度予算

(1) 予算額

10,707 千円

（地方創生推進交付金

補助率：交付対象額の 1/2）



(2) 事業内容

①豊岡 UIJ ターン就職促進事業 【6,115 千円・継続】

- ・大学生等の UIJ ターン就職を促進するため、企業人事担当者への研修会、WEBTV 発信、就職フェア（神戸）、保護者向けセミナー開催、就活情報サイト 2017 ホームページへ企業情報を掲載する。



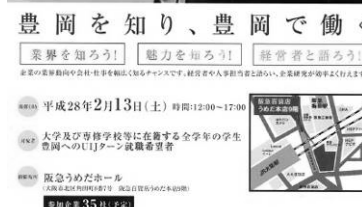
②豊岡 UIJ ターン企業研究会開催事業 【4,044 千円・拡大】

- ・大学生及び専修学校等（学年不問）を対象とした企業研究会を大阪で開催し、市内企業の業務内容や業種による仕事の違いなどを発信する。
- ・豊岡出身の京阪神に在学する大学生等と市内企業若手職員数名をキーパーソンに据え、大阪で懇親会を開催する。



③ジョブナビ豊岡の機能強化 【549 千円・拡大】

- ・セキュリティの強化、アクセス状況の解析を行い、利用しやすくシステムに改善する。また、事務の効率化を図るため、事業参加受付機能を追加する。



3 その他参考事項

但馬地域高等学校の平成 27 年 4 月大学等進学者数 1,222 名のうち 954 名（78.1%）が、関西（三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）に進学（豊岡市調査）

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2314）

施策体系番号 3-3-1-1

No.4	事業名	外国人観光客動向分析・P R事業（海外戦略推進事業）	28年度 予算額	6,500 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0301				

1 事業目的（趣旨）

本市を訪れる外国人観光客は、城崎温泉を中心に毎年大幅に増加しており、平成 27 年は年間 34,318 人と昨年の 15,231 人と比較し、約 2.3 倍の宿泊者数を記録した。2020 年（平成 32 年）に市全体で 10 万人の外国人宿泊客数の目標を達成するため、ターゲットとしている欧米豪市場へのプロモーションに加えて、成長著しい東南アジア市場からの誘客を目指した取り組みを行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

海外市場での認知度向上を目指す長期的視点に立った活動と、単年ごとの宿泊客数に関する目標値を設定し、計画的に宿泊客数増加を目指す活動により、戦略的に事業を展開する。

○海外及び国内での旅行エージェント・メディアへのプロモーション活動

○外国人観光客の受入体制整備

(2) 事業期間

平成 26 年度～（実質、平成 27 年度～）

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

6,500 千円（地域再生戦略交付金 補助率 1/2）

(2) 事業内容

○外国人観光客のユーザー属性情報取得及び分析 5,000 千円

無料 Wi-Fi を利用した外国人観光客のユーザー属性情報や行動経路を、サービス提供企業より分析レポートとしてフィードバックを受け、インバウンド関連事業のマーケティング情報として活用する。また、Wi-Fi スマホアプリを活用し、訪日前訪日後の外国人観光客への広告配信・情報提供を行う。

○WEB 用ショートムービーのマーケティング 1,500 千円

今年度制作した WEB 用ショートムービーを、国内外のメディアへの売り込み、インターネット上での動画広告の配信・分析等を行う。

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

地方創生予算で Wi-Fi アクセスポイントの設置費・維持管理費 1,300 千円を計上

担当課名【大交流課】（内線 2321）

施策体系番号 3-1-2-2

No.5	事業名	芸術文化担当参与の設置	28 年度 予算額	1,800 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段		A 0103、0205、0304			

1 事業目的（趣旨）

平田オリザ氏は、平成 27 年度「最先端の芸術文化による若者の誘引」戦略のアドバイザーとして芸術文化担当参与に就任いただき、現在も地方創生総合戦略「移住・定住促進に係る戦略」に取り組んでいただいているところである。（城崎国際アートセンターの芸術監督を兼務）

本年度も引き続き平田オリザ氏に委嘱し、地方創生総合戦略の一層の推進を図るとともに、本市の文化芸術分野における様々な指導助言を受ける。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

平田オリザ氏に就任いただくことで、「移住・定住促進に係る戦略」のための具体的手段“豊岡の魅力を語る人が世界中にいる”の一層の推進を図る。具体的な意義・効果は以下のとおりである。

①情報発信

ア 平田オリザ氏自身の知名度を生かした情報発信

イ 市としての情報発信

・芸術文化担当参与を設置している自治体としてのPR

・平田氏の知名度を生かし、文化芸術振興のまちとしての位置付け

ウ 市民自らの情報発信

芸術文化担当参与を設置し平田氏に就任していただいていることにより、市民自らの誇りと自慢に繋がる。

エ 平田氏の就任によるテレビ・ラジオ・新聞等マスコミからの情報発信

②地方創生戦略等の推進

ア コミュニケーション教育（こども教育課）

イ メイドイン豊岡による舞台芸術の発信（大交流課）

ウ 文化芸術振興計画の策定（文化振興課）

エ 植村直己冒険館機能強化基本構想の策定（生涯学習課）

(2) 事業期間

平成 27 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

1,800 千円

3 28 年度予算

(1) 予算額

1,800 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

報償費 1,200 千円

旅費 600 千円

担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

No.6	事業名	城崎国際アートセンター 運営体制の充実 (プログラムディレクター等の配置)	28年度 予算額	19,286 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0103、0205				

1 事業目的（趣旨）

城崎国際アートセンターは、国内外から高い評価を受け、世界的に優れたアーティストが年間を通じて滞在制作を行っている。

芸術文化による地方創生の核としての役割を担い、芸術文化の持つ創造性による魅力あふれる社会の実現を目指すため、引き続き運営体制の充実を図っていく。

また、滞在アーティスト及び制作関係者と築いた良好な関係を維持し、発展していくために、定期的に情報交換を行うなど、舞台芸術界での地位を確立していく。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

引き続き、次の専門職を配置する。

ア 館長兼広報・マーケティングディレクター （嘱託職員）

田口幹也 氏

イ プログラムディレクター （業務委託）

吉田雄一郎 氏

ウ アートコーディネーター （任期付職員）

橋本麻希 氏

(2) 事業期間

平成 26 年度～（実質、平成 27 年度～）

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

19,286 千円（地域再生戦略交付金 補助率 1/2）

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

(1) 平成 28 年度アーティスト・イン・レジデンス 7 カ国・17 団体

(2) 「文化芸術による小さな世界都市推進事業」 制作作品 2 公演、鑑賞 1 公演

(3) 文化芸術情報発信事業の実施

(4) KIAC インフォメーションの配信（メール／隔月）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

施策体系番号 5-1-2-3

No.7	事業名	移住定住促進事業	28年度 予算額	9,415 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0106				

1 事業目的（趣旨）

定住及びU I J ターンを推進し、活力あるまちづくりを図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

移住前後のギャップやミスマッチを解消するとともに、生活等のリアルな情報提供や相談に対応するため、ワンストップ窓口や支援の仕組みづくり等の移住定住の受入体制を構築する。

また、移住を希望する方々が定住できるように様々な支援を行う。

(2) 事業期間

平成 28 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

9,415 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

(2) 事業内容

①ワンストップ窓口の設置 180 千円

移住意向者への情報提供やコーディネートを一括して実施する総合窓口（大交流課定住促進係）の設置

②移住定住者支援の仕組みづくり 895 千円

移住意向者への情報提供、相談等に対応する仕組みの構築

③トヨオカム塾（仮称）の開催 2,000 千円

移住意向者を対象とした事業の企画立案や事業推進にかかる必要知識を習得するための学び場の開催

④豊岡暮らし体験会の開催 440 千円

移住意向者を対象とした先輩移住者の体験談や豊岡の暮らしを知る会の開催

⑤定住住宅リフォーム補助 5,000 千円

移住してきた方が行う過疎地域及び辺地集落を対象とした空き家改修への補助制度
移住定住ポータルサイト（仮称）に登録された物件を、移住希望者が購入、賃借するにあたり、必要な改修費を助成する。

対象経費の 4 分の 3 以内、50 万円を限度

⑥現地案内等に対する支援 900 千円

移住意向者への現地案内、地域紹介を行う現地案内人に対する支援

担当課名【大交流課】（内線 2321）

施策体系番号 3-3-1-1

No.8	事業名	特産振興事業 (革製鞆等生産能力育成)	28 年度 予算額	13,550 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0201、B 0104				

1 事業目的（趣旨）

基盤産業である鞆産業において、革製鞆・革小物の生産能力を習得する人材育成事業を行い、市内鞆製造業者の新事業への取り組みを支援することで、市内の鞆産業を強化させると共に、事業者の収益力を高め、それにより新たな雇用を生み出す。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

革製鞆・革小物づくりの技術講習を行うため、講師の募集、受け入れ、講習に必要な機械の導入、技術講習などを実施する。

(2) 事業期間

平成 26 年度～31 年度（実質、平成 27 年度からの 5 年間）

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

42,688 千円

3 28 年度予算

(1) 予算額

13,550 千円（地域再生戦略交付金 補助率 1/2）

(2) 事業内容

技術講習の実施、講師選任、機械導入等豊岡まちづくり㈱に業務委託する。

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2301）

施策体系番号 3-1-7、3-1-8

No.9	事業名	企業誘致の推進 (工場等賃借料補助)	28 年度 予算額	2,000 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0201、B 0104				

1 事業目的（趣旨）

企業の都市部からの地方移転促進、国外工場の国内回帰の動き、市内企業の新規投資に対応すべく、土地、建物等の賃借料の一部を補助し、企業立地を促進する。

2 28 年度予算

(1) 予算額

2,000 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

(2) 事業内容

事業者が、土地、建物又は機械設備を賃借して工場等を新增設する場合、又はオフィスビル等の建物を賃借して事務所、営業所等として利用する場合に賃借料の一部を補助する。

① 適用要件

次のいずれかに該当するもの。

- ア 豊岡市企業立地促進条例の規定に基づき指定を受けた指定事業者
(投下固定資産総額 50,000 千円以上、常用従業員の新規雇用者数 1 人以上他)
- イ 兵庫県のオフィス立地促進賃料補助金の要件を満たす事業者【拡大】
(常用従業員の新規雇用者数 6 人以上他)

② 補助内容

- ア 対象経費 土地、建物又は機械設備の賃借料
- イ 補助率 賃借料の 4 分の 1
- ウ 限度額 1,000 千円／年
- エ 期間 3 年間

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2311）

施策体系番号 3-1-7-1

No.10	事業名	環境経済事業推進事業 (販路拡大)	28 年度 予算額	2,200 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0201				

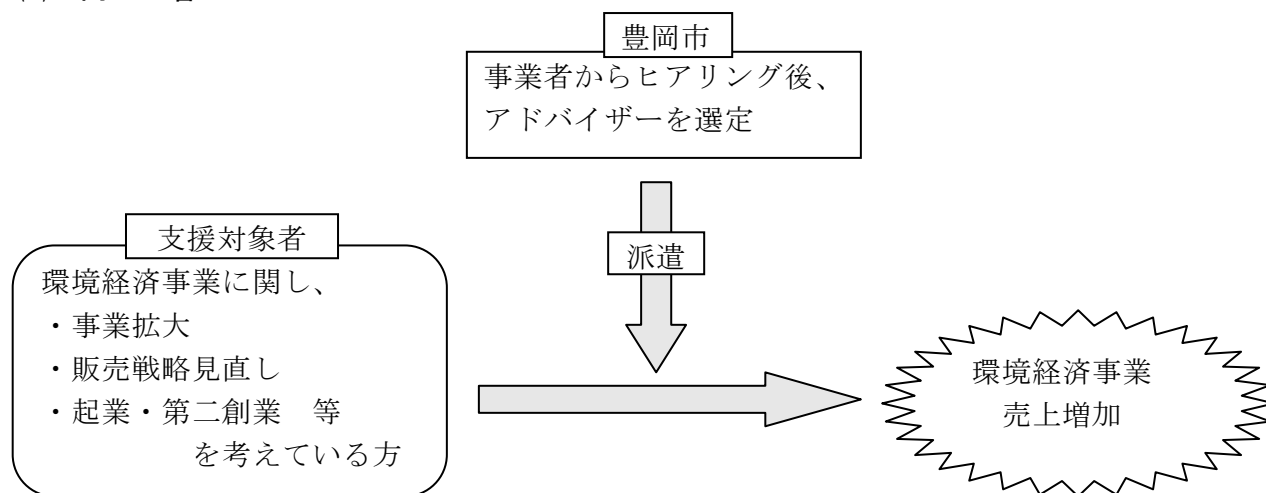
1 事業目的（趣旨）

市内事業者の行う環境経済事業（※）の売上向上のため、販路拡大に関する専門的知識を有するアドバイザーを招聘し、事業者のマーケティング、販売計画等の策定を支援する。

（※）環境を良くする事業活動で利益を生むもの

2 全体の事業内容

(1) 内 容



(2) 事業期間

平成 26 年度～31 年度（実質、平成 27 年度からの 5 年間）

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

2,200 千円（地域再生戦略交付金 補助率 1/2）

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2301）

施策体系番号 2-2-1、3-1-1、3-1-7

No.11	事業名 コウノトリ育む農法推進事業 (無農薬栽培実証事業、新品種 試験栽培実証事業)	28 年度 予算額	2,903 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0201			

1 事業目的（趣旨）

本市環境創造型農業の柱である「コウノトリ育む農法」の普及拡大へ向けた取組みにより、持続可能で強い豊岡農業の推進を図る。

2 28 年度予算

(1) 予算額

2,903 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

ア 無農薬栽培実証事業（みのる産業㈱業務協定）5 カ所 1,350 千円（継続）

イ 新品種試験栽培実証事業（㈱龍の瞳との連携）4 カ所 1,553 千円（新規）

(2) 事業内容

平成26年度より実施しているポット成苗等を使用した「みのる式営農」により、コウノトリ育む農法の無農薬栽培の実証試験（最終年）を行い、その結果をマニュアルとして整理し、栽培技術の向上に取り組む。

またポット成苗等による無農薬栽培により、新たに市場評価の高い新品種「いのちの壺」の試験栽培に取組み、コウノトリ育む農法の一層の推進を図る。

(3) 事業主体

豊岡市

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

(1) 「いのちの壺（品種名）」について

平成12年、岐阜県下呂市にて、現㈱龍の瞳代表今井氏が発見した新品種。米粒がコシヒカリの約1.5倍の大きさ、粘りや香り、甘みに優れた良食味米として、市場で高い評価を受けている品種。

㈱龍の瞳と試験栽培に関する覚書を締結し、今年度より3カ年の試験栽培実施により産地品種銘柄の登録を目指す。

※産地品種銘柄とは

農産物検査法に基づいて農林水産省が指定するもの。米袋等に産地・品種を明記するためには検査が必要であり、検査可能な産地・品種については登録をする必要がある。兵庫県において産地品種銘柄登録のない品種を栽培した場合は、検査が受けられないため「その他品種」と表記しなければならない。産地品種銘柄取得申請には原則3カ年の栽培実績が必要とされている。

(2) 事業費総額

12,007 千円（補助率 1/2）

ア【No.12】 9,104 千円（地域再生戦略交付金対象事業分）

イ【No.11】 2,903 千円（地方創生推進交付金対象事業分）



担当課名【農林水産課】（内線 2361）

No.12	事業名 コウノトリ育む農法推進事業 (無農薬栽培チャレンジ事業、有機育苗システム構築実証事業)	28 年度 予算額	9,104 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0201			

1 事業目的（趣旨）

本市環境創造型農業を代表する「コウノトリ育む農法」の無農薬栽培技術の早期確立を図るため、農機具メーカー及び市内農業生産法人等と連携し、意欲のある農家を支援し、同農法の一層の拡大推進を図る。

2 28 年度予算

(1) 予算額

- ア 無農薬栽培チャレンジ事業 5,000 千円（補助率 1/2）
- イ 有機育苗システム構築実証事業 4,104 千円（補助率 1/2）

(2) 事業内容

ア 無農薬栽培チャレンジ事業

無農薬栽培に効果が期待できるポット成苗栽培に必要となる苗の供給、専用農機具の貸出しと栽培技術指導を農機具メーカーに委託し、やる気のある農家の試行栽培を支援する。

※平成 27 年度～平成 29 年度（債務負担行為 15,000 千円）

イ 有機育苗システム構築実証事業

ポット成苗の供給と有機野菜の栽培を両立するビジネスモデルの構築を市内農業生産法人に委託し、実証検証を行う。

(3) 事業主体

豊岡市

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

(1) チャレンジ事業実施面積

約 16.5ha（1 件当たり概ね 1 ha 16 件）

(2) 事業費総額

12,007 千円（補助率 1/2）

- ア【No.11】 2,903 千円（地方創生推進交付金対象事業分）
- イ【No.12】 9,104 千円（地域再生戦略交付金対象事業分）

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

施策体系番号 3-1-3-1

No.13	事業名 コウノトリ育むお米ブランド化推進事業 (新米キャンペーン開催事業等)	28年度 予算額	3,430 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0201			

1 事業目的（趣旨）

本市環境創造型農産物を代表する「コウノトリ育むお米」の市場価値の向上を目指し、コウノトリ野生復帰に向けた生物多様性保全の取組みの情報発信と、消費者（ファン）の拡大を図り、市場経済に認められた真のブランド米として確立させ、同農法の一層の普及推進を図る。

2 28年度予算

(1) 予算額

3,430 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

ア	市場価値向上への取組み	東京都内レストランとの連携事業	832 千円
イ	新米キャンペーン開催	販売促進イベント、情報発信	1,998 千円
ウ	消費者へのPR	PR冊子の作成	600 千円

(2) 事業内容

多くの消費者にコウノトリ育む農法の特徴を理解、共感いただくため、店舗等と連携した様々な促進イベント等を実施する。

(3) 事業主体

豊岡市

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

(1) 事業費総額

10,730 千円（補助率 1/2）

ア【No.14】	7,300 千円（地域再生戦略交付金対象事業分）
イ【No.13】	3,430 千円（地方創生推進交付金対象事業分）



【新米販促イベント（沖縄サンエー）】

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

施策体系番号 3-1-3-1

No.14	事業名	コウノトリ育むお米ブランド化推進事業 (海外販路の開拓)	28 年度 予算額	7,300 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段		A 0201、0302			

1 事業目的（趣旨）

本市環境創造型農産物を代表する「コウノトリ育むお米」の海外市場での安定的な販路確保に向けてマーケットリサーチ、試験販売等を行い、持続可能な豊岡農業の早期確立を図る。

2 28 年度予算

(1) 予算額

7,300 千円（地域再生戦略交付金 補助率 1/2）

ア プロモーションイベント経費	2,270 千円
イ テスト販売旅費	1,980 千円
ウ 商標取得	1,300 千円
エ マーケットリサーチ業務委託	1,000 千円
オ 海外向け冊子等作成	750 千円

(2) 事業内容

コウノトリ育むお米の優位性を熟知している商社と連携し、昨年度決定した重点推進3カ国（イタリア、アメリカ、シンガポール）でのテスト販売等によるマーケットリサーチを実施し、海外販路の開拓を図る。

(3) 事業主体

豊岡市

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

(1) 事業費総額

10,730 千円（補助率 1/2）

ア【No.13】	3,430 千円（地方創生推進交付金対象事業分）
イ【No.14】	7,300 千円（地域再生戦略交付金対象事業分）

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

施策体系番号 3-1-3-1

特産振興事業（※） No.15 事業名（鞆産業強化：プロモーション戦略等）		28年度 予算額	47,104 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0201			

1 事業目的（趣旨）

鞆業界と一体となって、①鞆業界の成長及び職業としての魅力向上を図り、②並びに鞆で働く魅力をターゲット層に届け、③鞆産業で働くために移住する若者を増やすことにより、地方創生の実現と鞆業界の成長を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

①ペルソナマーケティング（※）によるプロモーション

鞆製造業・鞆卸売業で働く可能性が高い人物像を調査・設定し、その者の行動（情報入手メディア、購買行動等）に合わせたSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）、雑誌等によるプロモーションを行う。

②インターンの実施・支援

鞆産業への就職に興味を持つ若者に、鞆縫製者トレーニングセンターにおいて、2週間程度のインターンを行う。また、遠隔地からの参加者に対し、交通費及び宿泊費の補助金を交付する。

③技術指導実施支援

鞆産業への就職意思がある者に対する鞆縫製者育成組合の技術指導（3ヶ月間）を支援する。

④その他

めざす将来像、実現手法、役割分担、事業の細部等を豊岡鞆協会と協議しながら実施する。

(2) 事業期間

平成28年度～31年度

(3) 事業主体

上記①～③ 豊岡市（委託事業。ただし、インターン補助金は市が対象者に交付）
上記④ 豊岡市鞆縫製者育成組合（補助事業）

3 28年度予算

(1) 予算額

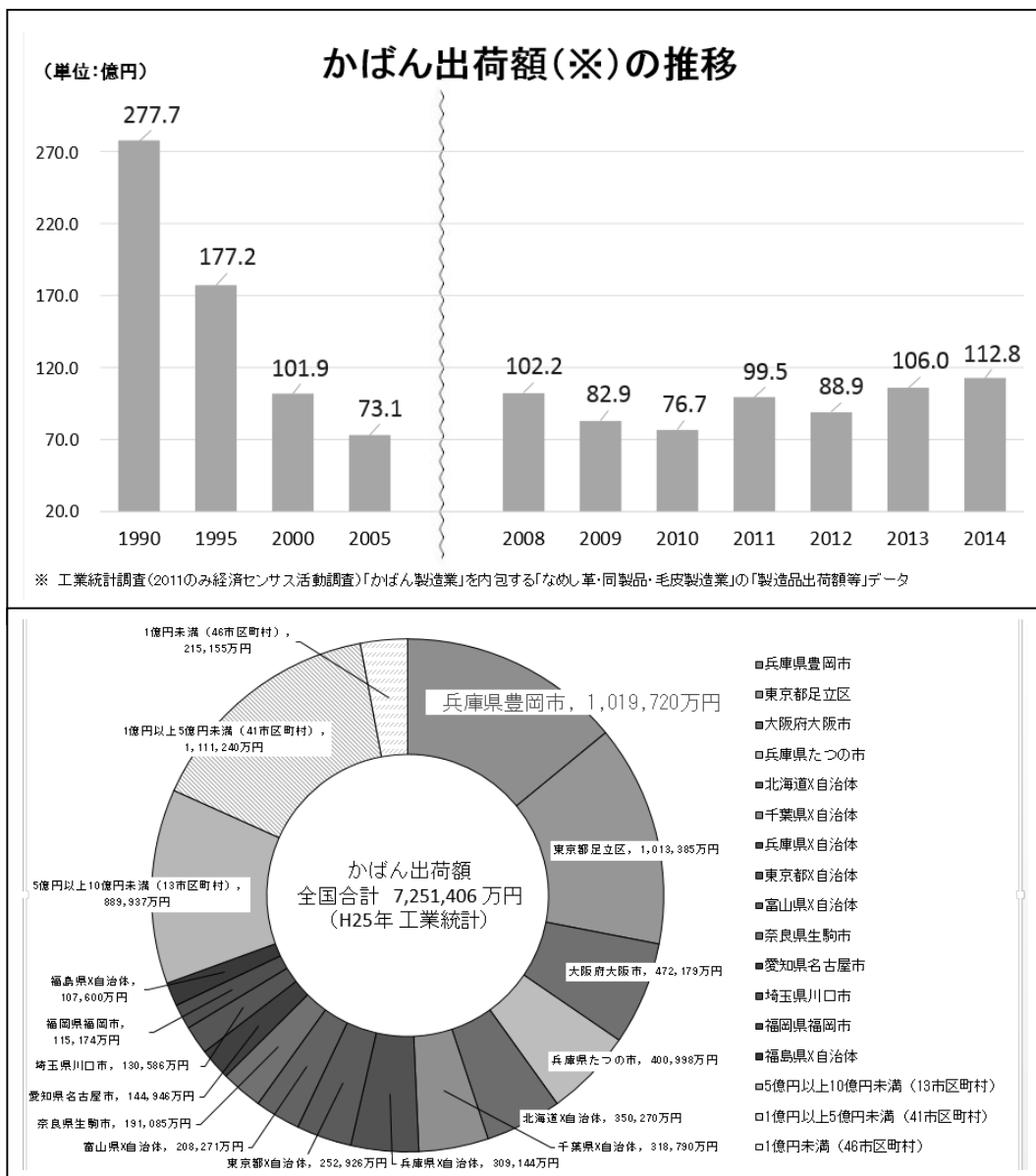
47,104千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

※ ペルソナマーケティング
明確にイメージできる1人の属性（年齢、性別、職業、服装、趣味、嗜好等）を設定し、その人を基準として行うマーケティング

4 事業実施の背景

- 基盤産業（市外からお金を稼ぐ産業）の従業者数増加と人口増加には、相関関係がある。（総務省統計局ホームページ）
- 市内の鞆製造業の純移出額（移出額－移入額）は約78億円で、飲食・宿泊業に次ぐ有力な基盤産業である。（2005年豊岡市産業連関表）
- 市内の鞆出荷額（平成26年）は112.8億円で、平成22年（76.7億円）と比べ、36.1

- 億円（47.1％）増加している。（工業統計調査）
- (4) 豊岡市は、日本一の鞆の産地である。（平成 25 年工業統計調査による出荷額・従業員数。平成 26 年分の市町村別データは未公表）
- (5) 市内の主な鞆企業 13 社に聞き取ったところ、今後 5 年間で従業員を計 240 人増やす予定だが、人材確保が難しいと感じている。
- (6) トヨオカ・カバン・アルチザン・スクールは、北海道～福岡県から受講生を集めている。（H26：6 人、H27：9 人、H28：9 人（予定））



5 その他参考事項

- ・ 地方創生加速化交付金実施計画提出事業
- ・ 関連事業 革製鞆・革小物生産能力育成事業（地域再生計画認定事業）

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2301）

施策体系番号 3-1-7、3-1-8

No.16	事業名	空き店舗等開業支援事業	28 年度 予算額	18,008 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0202				

1 事業目的（趣旨）

市内の空き家、空き店舗を活用して新規出店をしようとする個人または法人に対して補助を行い、魅力ある店舗等の新規開業を促進するとともに、空き店舗等の活用を図る。

（Uターン促進、就業・雇用の確保、起業促進、商店街の活性化）

2 全体の事業内容

(1) 事業期間

平成 27 年度～

3 28 年度予算

(1) 予算額

開業資金補助 1,000 千円×10 件 10,000 千円（内 3 件分はゼロ市債）
 経営安定化補助 800 千円×10 件 8,000 千円
 需用費（事業周知用チラシ） 8 千円
 （地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

(2) 事業内容

開業資金補助金

市内にある空き店舗・空き家を活用して出店する者に対して、予算の範囲内で店舗改修費及び販売促進費の一部を助成する。

対象となる業種は小売業、飲食サービス業（バー、キャバレー、ナイトクラブ、配達飲食サービス業を除く。）及び生活関連サービス業で地域のにぎわいづくりに適したもの。

助成額：上限 1,000 千円（対象経費の 2 分の 1 以内）

申請時期：事業着手前（交付決定後事業着手）

支払時期：開業後

※相談、申請窓口は豊岡商工会議所、豊岡市商工会。

※申請者に審査会でのプレゼンテーションを義務づける。



経営安定化補助金【新規】

上記の開業資金補助を受けたものに対し、開業後 1 年間（最長）の販売促進費の一部を助成する。

助成額：上限 800 千円（対象経費の 2 分の 1 以内）

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2301）

施策体系番号 3-1-6-2

No.17	事業名	豊岡農業スクール開校事業	28年度 予算額	11,160 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0202				

1 事業目的（趣旨）

本市の農業は、新規就農者及び農業後継者の確保・育成が喫緊の課題であり、明日の農業の担い手を養成するため、就農意欲の高い若者に対して、円滑に就農するための必要な生産技術力、経営管理能力及び環境創造型農業を「豊岡農業スクール」で習得させ、農業を持続可能な産業に結びつける。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

市が就農意欲のある研修生（年3名）の募集と事前登録された認定農業者へ派遣研修（最長3年）事業を豊岡市認定農業者協議会へ委託し、将来の独立自営就農又は雇用就農につなげる。

(2) 事業期間

平成25年度～

(3) 事業主体

豊岡市認定農業者協議会

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

平成25年度 6,270千円 平成26年度 9,299千円 平成27年度 10,777千円
平成28年度 11,160千円 平成29年度 15,690千円 計 53,196千円

3 28年度予算

(1) 予算額

11,160千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

(2) 事業内容

認定農業者協議会による新規研修生（年3名）の募集と事前登録された認定農業者へ研修生（新規3名+在学生3名）を派遣研修させる。

【平成28年度事業委託 11,160千円】

①研修生受入経費【研修生】	@100千円/月×12月×6名	=	7,200千円
②研修生受入経費【農家】	@25千円/月×12月×6農家	=	1,800千円
③臨時職員雇用（1名）	@150千円/月×12月×1名	=	1,800千円
④研修生傷害保険（6名分）	@10千円/年×6名	=	60千円
⑤座学研修費	@20千円/回×年6回	=	120千円
⑥指導観察経費	@15千円/月×12月	=	180千円

担当課名【農林水産課】（内線2361）

施策体系番号 3-1-3-3

No.18	事業名	新規就農総合支援事業 (青年就農給付金)	28年度 予算額	9,000 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0202				

1 事業目的（趣旨）

新規就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後（5年以内）の新規就農者の所得を確保する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

青年就農給付金〔経営開始型〕 【国⇒県⇒市⇒就農者】

人・農地プランの中心経営体に位置づけられるなど、国の要件を満たした原則45歳未満の独立・自営就農者に年間最大150万円を最長5年間給付する。

(2) 事業期間

平成26年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

平成26年度 2,250千円 平成27年度 4,500千円

平成28年度 9,000千円 計 15,750千円

3 28年度予算

(1) 予算額

年間最大1,500千円×6人＝9,000千円

(2) 事業内容

新規就農者への支援(国100%負担)

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

青年就農給付金については、就農前の研修期間中、年間150万円を最長2年間給付する準備型もあり、これについては国から県を通じて就農希望者へ交付される。

担当課名【農林水産課】（内線2361）

施策体系番号 3-1-3-3

No.19	事業名	新規就農総合支援事業（若手 農家支援、豊岡農業体験等）	28年度 予算額	14,938 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0202				

1 事業目的（趣旨）

豊岡で農業を頑張る若者に対し、初期投資費用の一部を支援するとともに、市外から移住する新規就農者や豊岡農業スクール生への家賃補助により住居負担を軽減することで、地方創生の柱である若者の定着を推進する。また、短期の農業体験を通して田舎暮らしの魅力を伝え、将来の移住・就農へ繋げる。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

① 若手農家支援事業【拡充】

(ア) 園芸用ハウス整備費助成事業【継続】

・園芸用ハウス整備に係る資材費・施工費の3/4以内(上限3,000千円)を補助

(イ) 農業用機械等整備費助成事業【新規】

・農業用機械等の導入経費の1/2以内(上限3,000千円)を補助

(ウ) 住居費助成事業【新規】

・市外から転入し、市内の賃貸住宅に居住する新規就農者・豊岡農業スクール生に対し、家賃の1/2以内(上限20千円/月)を補助

② 豊岡農業体験事業【新規】

・豊岡農業を短期間体験できる場を提供

③ 親方農家発掘事業【新規】

・大規模農家の後継者の状況、新規就農者等の受入希望等を把握するためのアンケート調査を実施

(2) 事業期間

平成27年度～(平成28年度より拡充)

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

平成27年度 9,000千円 平成28年度 14,938千円 計 23,938千円

3 28年度予算

(1) 予算額

14,938千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

(2) 事業内容

①園芸用ハウス整備費助成：1,300千円×8棟×3/4 ＝ 7,800千円

②農業用機械等整備費助成：3,000千円×2人分 ＝ 6,000千円

③住居費助成：20千円×12月×2人分 ＝ 480千円

④豊岡農業体験：報償費393千円＋旅費215千円＋需用費50千円 ＝ 658千円

担当課名【農林水産課】（内線2361）

施策体系番号 3-1-3-3

No.20	事業名	コワーキング豊岡整備事業	28年度 予算額	95,040 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0202				

1 事業目的（趣旨）

但馬地域地場産業振興センター（以下「センター」という。）の5階に新しくコワーキング等の機能を加え、施設利用の活性化と経営の安定化を図るとともに、起業・創業の仕組みづくりを行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

現在、一般社団法人豊岡鞆協会が所有するセンター5階のホールと会議室を市が無償で取得し、一般財団法人但馬地域地場産業振興センター（以下「じばさん」という。）に有償で貸し付ける。じばさんは、コワーキングとシェアオフィスのある空間と、二つの貸事務所を整備し、施設利用の活性化と経営の安定化を図る。

貸事務所の一つには、平成28年度設立予定のDMOが入居予定。

（※）コワーキング豊岡構想：

センターの5階に整備するコワーキングとシェアオフィスの空間を拠点に、複数の事業者が活発に交流・連携し、新しい事業を興していくこと。

(2) 事業期間

平成28年度

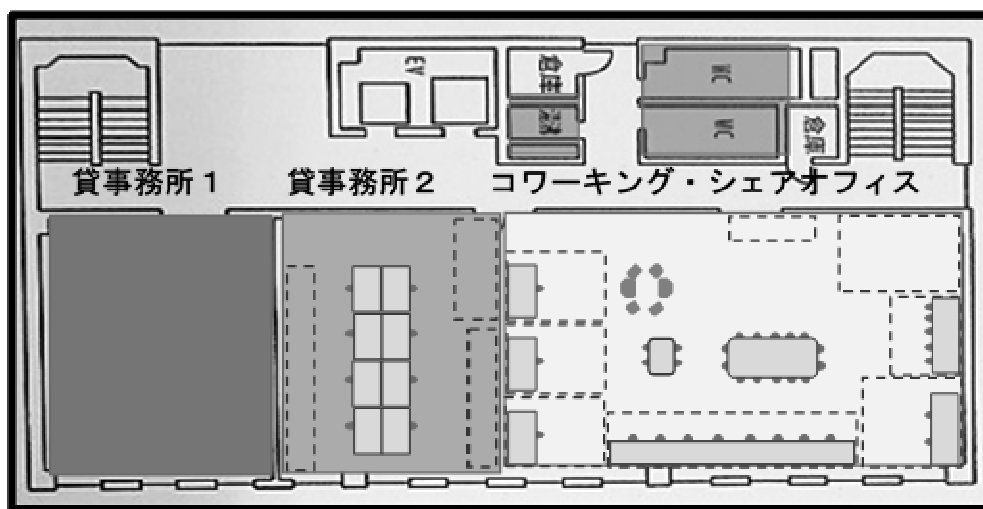
(3) 事業主体

一般財団法人但馬地域地場産業振興センター（豊岡市が補助）

3 28年度予算

95,040 千円（内訳：設計・施工監理費 8,640 千円、整備工事費 86,400 千円）

- ・市がじばさんに補助金として交付する。
- ・財源として、地方創生推進交付金（補助率 1/2）と、合併特例債を活用する。



じばさんセンター5階の改修イメージ図

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2301）

施策体系番号 3-1-6-1

No.21	事業名	地域マネージャーの養成	28 年度 予算額	1,296 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0203				

1 事業目的（趣旨）

地区公民館の区域を単位とする新しい地域コミュニティによる住民自治を推進するにあたり、地域運営組織の事務局を担い、地域を支える人材として地域マネージャーを養成するものである。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

年間を通じた「地域マネージャー養成講座」を開設し、地域マネージャー候補者の研修を行う。

(2) 事業期間

平成 26 年度～（実質、平成 27 年度～）

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

3,694 千円（H26～H28、H29～は未定）



3 28 年度予算

(1) 予算額

1,296 千円（地域再生戦略交付金 補助率 1/2）

(2) 事業内容

地域マネージャー養成講座の開催

【主な研修内容】

- ア．地域マネージャーの心構え
- イ．業務の棚卸し手法
- ウ．会議、ワークショップの運営方法
- エ．広報発信とデザイン
- オ．会計、人事、労務管理
- カ．新規事業開拓、補助金確保の方法

担当課名【コミュニティ政策課】（内線 2781）

施策体系番号 5-2-1-2

No.22	事業名	芸術文化情報発信事業	28年度 予算額	1,697 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0203、0205、0403、0404				

1 事業目的（趣旨）

城崎国際アートセンター（KIAC）は、国内外から高い評価を受け、世界的に優れたアーティストが年間を通じて滞在制作を行っている。

また、芸術文化による「豊かな生活」を実現するため、市民への情報提供の充実、様々な階層で参加可能なプログラムの実施等、さらなる高みを目指して、芸術文化による地方創生の核としての役割を担い、人々が豊岡で世界と出会い、豊岡で暮らすことの喜びを見いだすことができる、芸術文化の持つ創造性による魅力あふれる社会の実現を目指す。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

以下の事業を行う。

ア KIAC レクチャーシリーズ

パフォーミングアーツに関わる様々な分野の市民講座をシリーズで開催

イ 芸術文化情報放送

芸術文化全般に係る情報提供放送（FMジャングル）

ウ 子どもたちと外国人とのコミュニケーション推進

外国人（カナダ・ビクトリア大学生）と市内小・中学生とのコミュニケーションの
機会の提供

エ 学校へのアーティスト特別派遣

レジデンス・アーティストによる市内小・中学校でのダンスの特別授業の実施

オ インターンシップ受入

大学生へのアートコーディネート業務等を学ぶ機会の提供

(2) 事業期間

平成 28 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

1,697 千円（文化芸術振興費補助金 補助率：補助対象額の 1/2）

ア KIAC レクチャーシリーズ 758 千円

イ 芸術文化情報放送 389 千円

ウ 子どもたちと外国人とのコミュニケーション推進 300 千円

エ 学校へのアーティスト特別派遣 200 千円

オ インターンシップ受入事業 50 千円

担当課名【大交流課】（内線 2321）

施策体系番号 5-1-2-4

No.23 事業名 文化芸術振興計画の策定	28 年度 予算額	2,591 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0205		

1 事業目的（趣旨）

人口減少、地方創生という大きな課題に向けて、市民文化の振興とともに魅力あるまちづくりに文化芸術の果たす役割は大きいと考えている。そのため、その指針となる「文化芸術振興計画」を策定する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

『文化芸術振興計画』の策定

- ・策定委員会、庁内検討部会の設置、審議
- ・アンケート調査の実施及び分析

(2) 事業期間

平成 28～29 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

6,090 千円

3 28 年度予算

(1) 予算額

2,591 千円

(2) 事業内容

- ・策定委員会、庁内検討部会の設置、審議
- ・アンケート調査の実施及び分析

担当課名【文化振興課】（内線 2772）

施策体系番号 5-1-2-1～3

No.24	事業名	文化芸術創造交流事業	28年度 予算額	33,896 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0205、0302、0303				

1 事業目的（趣旨）

「地方は貧しくて、つまらない」というイメージを脱却するため、文化芸術事業の連携や市民による文化芸術の質の向上によって、市民が暮らしの豊かさを実感するとともに、内外に向けた情報発信を行い、地方創生の実現を目指す。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- （仮称）「2016 夏・秋 とよおかの文化芸術との新たな出会い」
7 月から 11 月までの期間として文化芸術事業を提供
- ・オープニングシンポジウムの開催
 - ・対象文化芸術事業の開催、発信

(2) 事業期間

平成 28 年度（3 年間継続予定）

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 事業費（補助率・負担率等）

33,896 千円

（文化芸術振興費補助金 補助率：補助対象経費の 1/2）

3 28 年度予算

(1) 予算額

2 の(4)と同じ。

文化振興課 3,753 千円、生涯学習課 14,562 千円、大交流課 15,581 千円

(2) 事業内容

文化振興課 文化芸術シンポジウム、豊岡市民会館／おでかけ訪問コンサート
生涯学習課 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭～おんぷの祭典～
豊岡市民プラザ／演劇プロジェクト 関西人気劇作家と俳優たち×市民演劇、
劇団 CORPUSfrom カナダ『ひつじ』豊岡公演とWS
大交流課 城崎国際アートセンター／ロラン・コロン with 青年団『キノサキノマトペ』公演、
トマ・キラル with ブノワ・カレ、河村達也（青年団）『montagne/
山』公演、てがみ座『燦々（仮）』公演

※上記事業に、市内文化会館自主事業、出石永楽館の歌舞伎や狂言、豊岡市美術展、
仲田光成記念全国かな書展などの文化芸術事業を加えて発信する予定。

4 その他参考事項（実施予定事業等）

城崎国際アートセンターは、地方創生で掲げている芸術文化による国際的戦略拠点となり、小さな世界都市の実現を目指す。

担当課名【文化振興課】（内線 2772）
【生涯学習課】（内線 2741）
【大交流課】（内線 2321）

No.25	事業名	豊岡DMO設立事業（※）	28年度 予算額	56,214 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段		A 0301			

1 事業目的（趣旨）

急速な人口減少により地域経済が縮小する中、交流人口の拡大、特にインバウンド需要の取り込みによる地域活性化が重要な政策課題となっている。

社会環境の変化や旅行ニーズの多様化に対応しつつ地域自らが誘客するためには、客観的なデータの収集・分析に基づく戦略策定や地域経営の視点から多様な主体を巻き込み見つつ、観光地域づくりを進めていく機能が必要であり、その舵取り役として「豊岡DMO」を設立する。（Destination Management/Marketing Organization）

＜評価指標＞ 外国人宿泊者 10万人泊（2020年）

消費金額、平均滞在日数などを指標として今後設定予定

2 全体の事業内容

(1) 内 容

豊岡DMOを設立し、地域の「稼ぐ力」を引き出すための客観的データの分析や、着地型観光の促進に関する支援等を行う。

※ 着地型観光

着地型とは、これまでの旅行商品の多くが都市部の旅行会社で企画・造成される「発地型」であったのに対し、旅行目的地側主導で企画・造成する観光を指す。これまでは、旅行者のニーズを把握し情報を発信するのに便利な発地型が大半だったが、消費者志向の多様化にともない、地元の人しか知らないような穴場や楽しみ方が求められるようになり、着地型が見直されている。地元にとっても新しい観光素材を掘り起こし、都市部の旅行会社や直接観光客に提案する着地型が地域おこしにつながるとして力を入れている。

(2) 事業期間

H28年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 28年度予算

(1) 予算額

56,214千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

(2) 事業内容

①設立準備負担金（法人登記費用）214千円

②基金拠出金 20,000千円 ※民間も8,750千円負担（予定）

③年会費 300千円

④着地型観光促進事業補助金 6,000千円

⑤観光まちづくり推進事業補助金（アドバイザー契約）7,200 千円

※ DMOを運営していく上で必要な知識を蓄積するために、データ分析、団体の運営及び観光まちづくりに関するアドバイザーに要する経費を補助する。

⑥地域経営企業人負担金（大手商社、JTB）22,500 千円

※ 企業経営や観光商品造成の経験者を企業から派遣してもらい、DMOの経営や事業運営を支援する。

4 その他参考事項

地方創生加速化交付金実施計画提出事業

担当課名【大交流課】（内線 2321）

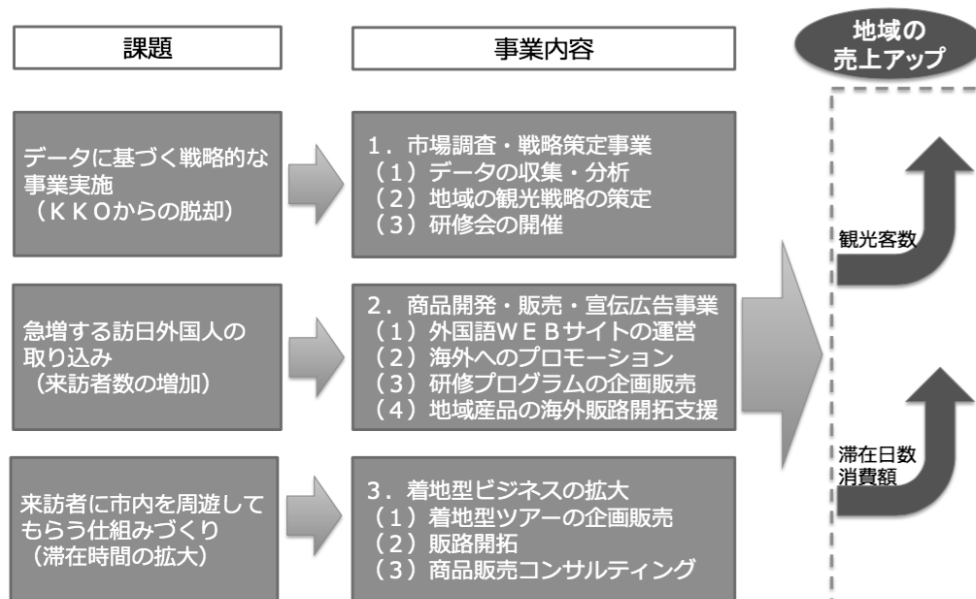
施策体系番号 3-1-2-3

豊岡DMOについて

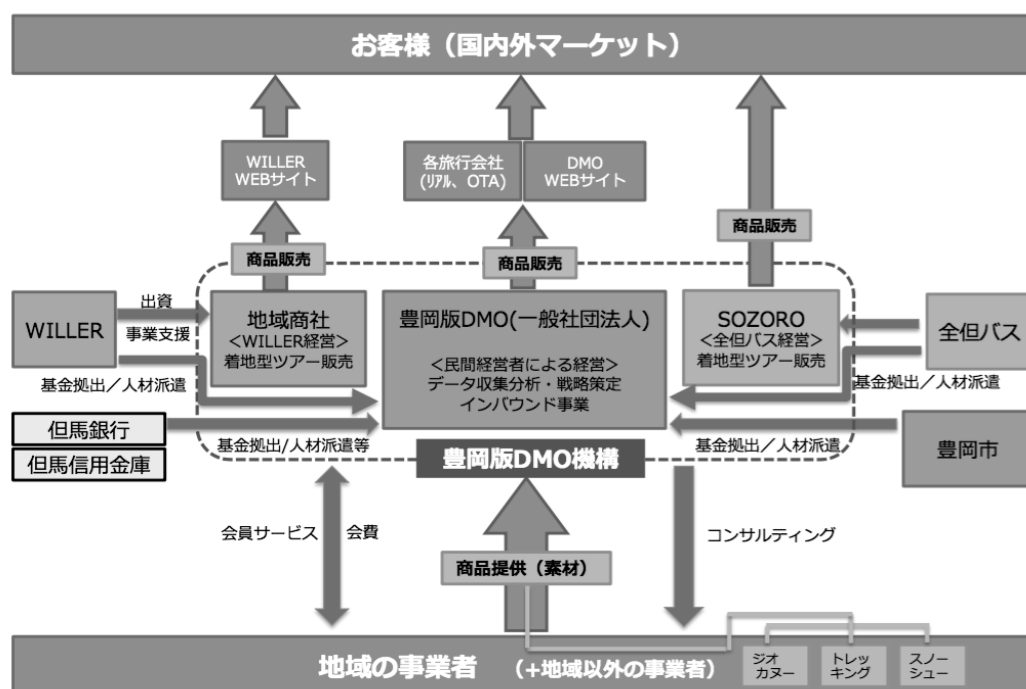
<目的設立趣旨>

小さな世界都市を目指し、地域の個性を伸ばすことにより世界で輝く「LOCAL & GLOBAL」を実現するため、地域全体を俯瞰し、地域経営の支店からマーケティング戦略を策定できる組織を作る。

豊岡DMO機構の主な事業内容



豊岡DMO機構の特徴（地域の稼ぐ力を牽引する仕組み）



No.26 事業名 観光動態見える化事業 (※) (観光客移動調査)			28 年度 予算額	3,996 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0301				

1 事業目的（趣旨）

急速な人口減少により地域経済が縮小する中、交流人口の拡大による地域活性化が重要な政策課題となっている。

社会環境の変化や旅行ニーズの多様化に対応しつつ地域自らが誘客するためには、客観的なデータの収集・分析に基づく事業展開が必要となる。そのために、観光客の動きを把握するデータを収集し、分析を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

交流人口の拡大による地域経済の活性化を図るために、継続的に客観的なデータの収集・分析を行う。これにより、戦略的な事業展開を行うとともに、事業の計画、実行、検証、改善のサイクルを回す。

(2) 事業期間

H28 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

3,996 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

(2) 事業内容

スマートフォンユーザーの位置情報ビッグデータの活用により、観光客の動きを把握するデータを収集し、分析する。また、平均宿泊日数、平均滞在時間等のデータも把握する。これにより、現状把握やターゲットを絞った誘客施策、周遊促進など具体的なアクションの実行に活かす。

4 その他参考事項

地方創生加速化交付金実施計画提出事業

担当課名【大交流課】（内線 2321）

施策体系番号 3-1-2-3

No.27 事業名		インバウンド受入体制整備 計画の策定（※） （海外戦略推進事業）	28 年度 予算額	2,000 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0301				

1 事業目的（趣旨）

東京オリンピック・パラリンピック大会が開催される 2020 年に、本市に宿泊する外国人観光客 10 万人の目標を達成するため、ソフト・ハードの両面から現況を調査し課題等を整理するとともに、外国人旅行者が快適に旅行できる環境を整備する計画を策定する。

2 全体の事業内容

- (1) 内 容 市内における訪日外国人の受入体制の実態調査を行い、現状を把握し整理するとともに整備計画を策定する。
- (2) 事業期間 平成 28 年度
- (3) 事業主体 豊岡市

3 28 年度予算

- (1) 予算額 2,000 千円
（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）
- (2) 事業内容 市内における訪日外国人の受入体制の実態調査を行い、現状を把握し整理するとともに整備計画を策定する。



4 その他参考事項

地方創生加速化交付金実施計画提出事業

担当課名【大交流課】（内線 2321）

施策体系番号 3-1-2-3

No.28	事業名	夢但馬周遊バス運営事業	28 年度 予算額	4,757 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0301				

1 事業目的（趣旨）

但馬 3 市 2 町の各地域の観光ポイントを運行ルートとする周遊バスを運行し、観光客の交通の二次アクセスの整備・充実を図り、地域の魅力をより向上させることにより観光客の周遊性の確保と観光地の誘致促進を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

但馬各市町の観光地を巡る夢但馬周遊バス「たじまわる」を運行する。路線バス方式、定期観光バス方式により、観光地をつなぐ運行ルートを設定する。

(2) 事業期間

平成 28 年度

(3) 事業主体

但馬観光協議会（但馬県民局）

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

28,056 千円

豊岡市負担金 4,757 千円（但馬観光協議会への負担金）

3 28 年度予算

(1) 予算額

4,757 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

(2) 事業内容

夢但馬周遊バス運行事業 名称「たじまわる」

豊岡市運行ルート：3 コース設定

2 号(海コース) 城崎地域～竹野地域

3 号(山コース) 城崎地域～豊岡地域～日高地域

プレミアム 城崎地域～豊岡地域～出石地域～朝来市(竹田城跡)

※期間により運行ルート変更

担当課名【大交流課】（内線 2321）

施策体系番号 3-1-2-2

No.29	事業名	京都丹後鉄道特急車両魅力アップ事業	28年度 予算額	4,394 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0301				

1 事業目的（趣旨）

京都丹後鉄道が運行する特急車両『タンゴ・ディスカバリー』2編成4両について、JR九州のクルーズトレイン『ななつ星 in 九州』の改修を手がけた水戸岡鋭治氏に依頼し、北近畿をイメージしたデザイン改修を実施し、国内外からの観光客増加につなげる。また、安全性及び快適性の向上を確保するため、機関部分の改修も併せて行い、近畿圏と但馬を結ぶ京都丹後鉄道の集客に寄与し、交流人口増加を目指す。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ・特急車両デザイン改修・リニューアル費（塗装、座席、トイレ、壁等の改修）

デザイン改修及び機関部分の改修を行うことにより、京都丹後鉄道の魅力アップ並びに安全性・快適性の向上を図る。

(2) 事業期間

平成28年度

(3) 事業主体

京都丹後鉄道 沿線自治体

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

159,000 千円 うち豊岡市負担分 4,394 千円

（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

3 28年度予算

(1) 予算額

4,394 千円（全体事業費 159,000 千円）

(2) 事業内容

- ・外装リニューアル（塗装） 34,000 千円
- ・内装リニューアル（座席、トイレ、壁などの改修） 125,000 千円



Design and Illustration by Eiji Mitooka + Don Design Associates

担当課名【都市整備課】（内線 2481）

施策体系番 3-2-4-3

No.30	事業名 但馬空港利用促進事業	28 年度 予算額	11,250 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0301			

1 事業目的（趣旨）

地域活性化・大交流の実現に必要な東京直行便の実現に向けて、豊岡の認知度向上と魅力発信を行い、東京乗継に重心を置いた現路線を利用した誘客を図り、航空需要を拡大する。

2 28 年度予算

(1) 予算額

- ① 豊岡市×JAL プロモーションコンテンツの制作・配信 10,500 千円
- ② 国際都市おおたフェスティバル in 「空の日」羽田への参加 750 千円
(地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2)

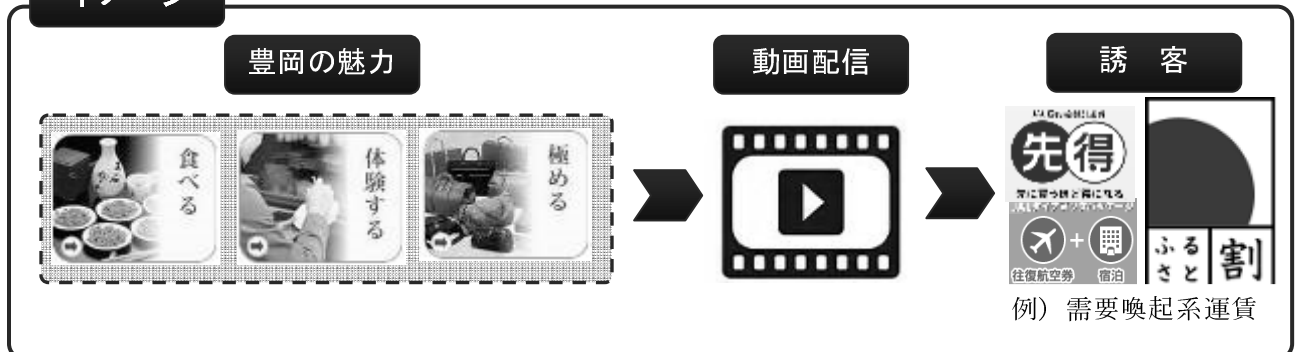
(2) 事業内容

- ① 豊岡市×JAL プロモーションコンテンツの制作・配信

首都圏において、豊岡を知ってもらおうと共に、コウノトリ但馬空港を利用して豊岡へ訪れていただく機会提供を運航会社との協働により実施する。

- ・素材制作：豊岡の魅力（伝統・文化・自然）を伝える動画コンテンツの制作
- ・宣 伝：電車内ビジョン（首都圏主要路線車内）での動画コンテンツ配信
- ・誘 客：需要喚起商品の造成・販売促進

イメージ



- ② 国際都市おおたフェスティバル in 「空の日」羽田への参加

「首都圏との大交流」実現のきっかけ作りの一環として、大田区で取り組まれている同イベント内の全国各地の産品が集うコーナー「クールジャパンコーナー」に参加する。

【平成 27 年度の開催状況】

- ・開 催 日：平成 27 年 10 月 3 日（土）
10：00－16：00
- ・開催場所：羽田空港跡地第 1 ゾーン
（東京都大田区）
- ・来場者数：32,000 人



担当課名【都市整備課】（内線 2481）

施策体系番号 3-2-4-2

No.31	事業名	城崎温泉街交通環境改善事業	28 年度 予算額	5,126 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0301				

1 事業目的（趣旨）

城崎温泉街の中心部では、道路が狭いために車や歩行者が輻輳し、慢性的に渋滞が発生していることから、観光客や地域住民の安全確保が課題となっている。この課題を解決し、城崎温泉街のそぞろ歩きの魅力を高めるために、城崎温泉街の交通環境を改善する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

交通状況等の調査解析を行い、交通環境改善策の実施について検討する。

(2) 事業期間

平成 26 年度～（実質、平成 27 年度～）

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

未定

3 28 年度予算

(1) 予算額

5,126 千円（地域再生戦略交付金 補助率 1/2）

(2) 事業内容

前年度に実施した交通状況の調査解析結果により提案された交通環境改善策について、地元を主体とした交通環境改善協議会を設置し、短期及び中長期施策の実現に向けた検討を行う。

担当課名【建設課】（内線 2442）

施策体系番号 3-2-3-4

No.32	事業名	地域プロデューサーの配置	28 年度 予算額	31,650 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0303				

1 事業目的（趣旨）

各地域（合併前の各市町）の地域資源を活かし、住民が自主的・自立的に考え、実行する仕組みを構築するため、専門的知識を有する者、または団体（地域プロデューサー）を3年間配置。住民が地域プロデューサーとともに地域課題の解決策に取り組む。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

地域課題の解決策を検討し、それぞれの地域の強みを活かした取組みを地域が地域プロデューサーとともに進めて行く。

(2) 事業期間

平成26年度～平成29年度（実質、平成27年度からの3年間）

(3) 事業主体 豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額 31,650 千円

(2) 事業内容

①豊岡地域：地域戦略（フードアルチザンとカバンアルチザン）を設定し、復興建築など歴史的建築物を活用した起業・創業と魅力ある店舗の出店を図る。

予算額：5,100 千円

②城崎地域：「地域の特色を生かすまちづくり」を業務内容とし、城崎地域の資源、施設を生かし、観光客の滞在時間を延ばす施策の展開を図る。

予算額：5,250 千円

③竹野地域：観光を切り口としたまちおこしにより住民や移住者が竹野地域で住み続けることのできる基盤と仕組みを構築するため、地域や団体の地域力の維持・創出に資する活動をサポートする。

予算額：5,250 千円

④日高地域：地域資源を活かしながら、交流人口の増加や地域の雇用が創出される取組みを地域と一体になって展開する。

予算額：5,550 千円

⑤出石地域：平成27年策定の出石地域活性化計画「いずしのみらい」の実行に対し、助言、指導などを行う。

予算額：5,250 千円

⑥但東地域：移住者の受け入れと生業や内発型産業の創出を目的として、空き家を活用した移住促進住宅や交流拠点施設の整備と運営を支援する。

予算額：5,250 千円

担当課名 <全体> 【大交流課】（内線 2321）

<地域> 【エコバレー推進課】（内線 2301）、【城崎振興局】（内線 5002）、
【竹野振興局】（内線 5212）、【日高振興局】（内線 5402）、【出石振興局】（内線 5604）、【但東振興局】（内線 5802）

施策体系番号 6-1-1-1

No.33	事業名	地方創生戦略評価事業	28 年度 予算額	4,710 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0303				

1 事業目的（趣旨）

豊岡市が将来にわたって、環境の変化に応じた質の高い行政サービスを提供していくためには、限られた行政資源（人・もの・金）の投入先を、より効果が得られる事業へと弾力的に変えていく行政経営が必要である。

市では、より成果を重視した行政経営に移行するため、戦略的政策評価の手法による行政評価の取組みを進めている。常に目的と手段を意識して、絶えず評価と改善を繰り返すことで、より成果を上げられる組織の実現を目指す。

※戦略的政策評価とは、政策の目的や手段を体系化した上で、その体系そのものを評価し、最適な組み合わせに改善していく手法である。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

市の主要施策の中から戦略的政策評価の手法によりダイナミックな作戦展開が必要となる施策を選択し、推進している。

ア 戦略体系図による作戦策定

イ 市民協働ワークショップ

市民の経験や知識を政策に反映し、政策目的の実現に向けて共に行動していくため、市民との話し合いにより政策の目的や手段を考えたり、見直しを行う。

ウ 政策モニタリング調査

選択・実施した手段の効果を測るためのモニタリング調査を年1回実施する。

(2) 事業期間

平成24年度～

3 28 年度予算

(1) 予算額

4,710 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

(2) 事業内容

戦略的政策評価の手法により策定した地方創生総合戦略を着実に推進するため、作戦の評価・改善を担う協働促進役職員の更なる育成と、統計的思考により数値を分析し行政経営に活かせる職員の育成を実施する。

また、主要施策での戦略的政策評価推進を通じて職員の意識改革を進め、より成果を重視した行政経営への転換を図る。

ア 戦略的政策評価研修

イ 統計分析研修

ウ 政策モニタリング調査等

担当課名【政策調整課】（内線 2006）

施策体系番号 6-3-2-2

No.34	事業名 ふるさと教育推進事業	28年度 予算額	15,910 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0401、0402			

1 事業目的（趣旨）

一人一人の子どもの夢実現力を高め、小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子どもを育成するため、系統性と一貫性のあるカリキュラムで実践する「ローカル&グローバル学習の時間」を行う。そこでは、「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習テーマとして位置づけ、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を高める教育を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

教育委員会、コウノトリ共生部、環境経済部が連携して、ふるさとについて学ぶ「ローカル&グローバル学習の時間」のカリキュラムを検討し、副読本等の作成に取り組む。

(2) 事業期間

平成 28 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

こども教育課	209 千円
コウノトリ共生課	15,079 千円
大交流課	60 千円
エコバレー推進課	562 千円
合 計	15,910 千円

（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

(2) 事業内容

ア 教育委員会、コウノトリ共生部、環境経済部が連携する取組

(ア) こども教育課を中心に、ふるさと教育・英語教育・コミュニケーション教育を 3つの柱とした「ローカル&グローバル学習の時間」のカリキュラムを作成する。

(イ) すべての子どもが、世界に誇れる豊岡の特色ある取組を学習するため、こども教育課、コウノトリ共生課、大交流課、エコバレー推進課が連携し、「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」に関する副読本等を作成する。

(ウ) 様々な分野に広がり続ける“コウノトリ野生復帰の歴史と現状”を伝えるとともに、“コウノトリをシンボルとしたまちづくり”について学ぶための映像を制作する。ふるさと教育推進事業、並びに市立コウノトリ文化館で一般来場者用として使用する。

イ 「但東中学校 MISSION IN TOKYO（ミッション イン トーキョー）」（こども教育課）

但東中学校 3 年生が修学旅行の機会を利用して、東京交通会館イベントスペース等で、「ふるさと豊岡の魅力」を発信する。

ウ 豊岡市工業会 5 周年記念事業「おっとりっしや豊岡のものづくりⅢ」（エコバレー推進課）

ネイチャーテクノロジー展、ものづくり体験教室、会員企業の展示等を通じて、ものづくりの楽しさを実感し、市内企業の優れた技術や成長性についての理解を深めるきっかけをつくる。

代表担当課名【こども教育課】（内線 2721）

No.35	事業名 英語教育推進事業	28 年度 予算額	1,502 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0304、0403			

1 事業目的（趣旨）

就学前及び9年間の系統性と連続性のある学習を通して、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域を確実に身につけ、中学校卒業時にはふるさとのこと、自分のことを英語で語ることのできる力を身につける。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 豊岡市小中一貫教育モデル校を拡大する

27年度 但東中学校区（合橋小、高橋小、資母小）

28年度 城崎中学校区（城崎小）

※27年度は、小中一貫教育事業（文部科学省委託事業）において実施。28年度は、小中一貫教育事業とあわせて実施する。

※29年度には、全ての小学校全学年で、ALTと協力しながら、英語の授業を実施する。

イ 豊岡市英語カリキュラムを作成する

ウ 豊岡市教員の英語の授業力向上を目的にした研修会を実施する

(2) 事業期間

平成 27 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

1,502 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

(2) 事業内容

ア 豊岡市小中一貫教育モデル校で豊岡市英語カリキュラムに則った授業を行う。

イ 授業実践を通して、豊岡市英語カリキュラムを作成する。

ウ 研修を通して、豊岡市教員の英語における授業力の向上を図るとともに、豊岡市英語カリキュラムに則った授業を周知する。

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

こども育成課が取組む、就学前の英語遊び保育からの系統性と連続性を考慮して、事業に取り組む。

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

施策体系番号 4-1-2-1

No.36	事業名	コミュニケーション教育推進事業	28年度 予算額	1,189 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0304、0403				

1 事業目的（趣旨）

国際化社会に対応したグローバルなコミュニケーションスキルの獲得を見据え、性別や年代を超えて、対等な関係の中で自分を主張し、また他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力を育成する。

豊岡に在るからこそ受けることができる特色ある教育の魅力により、若い世代の定住促進・I ターンの増加を図り、地域活性化を推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

小・中学校で演劇的な手法を取り入れたワークショップ型、双方向型のアクティブラーニングを用い、児童の学習意欲・自尊感情を向上させる総合的な取組を行う。

3 年間のモデル校として5校を指定し、外部講師を招聘して指導手法を実践の中で確立する。

(2) 事業期間

平成 27～29 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

1,189 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

(2) 事業内容

① モデル校の指定（小学校 4 校・中学校 1 校）

演劇の専門家が指導して研究授業を実施。カリキュラムを作成する。

② ワークショップ形式の研修会実施

演劇専門家の指導。

モデル校の教師がリーダーとなり実施。

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

モデル校 小学校 … 豊岡小、城崎小、三方小、弘道小
中学校 … 城崎中

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

施策体系番号 4-1-2-3

No.37	事業名	英語遊び保育推進事業	28 年度 予算額	5,759 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0403				

1 事業目的（趣旨）

「小さな世界都市・豊岡」の子どもたちが、将来、世界の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする気持ちを育むため、就学前に世界の多くの国で使われている英語に慣れ親しみ、外国の言葉や文化に興味・関心を持たせることを目的として「英語遊び保育」に取り組む。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

就学前の英語のスタートは、「勉強」ではなく「遊び」の一つとして楽しく英語にふれあうことが大切だと考えており、園児への押し付けになったり、英語嫌いの感覚を植え付けることがないよう、モデル園で試行を重ねながら、平成 29 年度から市内のすべての幼稚園・認定こども園・保育園において、巡回指導を行う。

「えいごってたのしい！」「えいごだ～いすき！」という気持ちを育み、小学校の英語活動につなげる。

- ア 対象児童 4、5 歳児
- イ 講師派遣 各クラス 2 週間に 1 回（1 レッスン 40 分程度）
- ウ レッスン内容 ゲームや歌などで「遊ぶ」ことが中心
レッスンの間は、講師は英語のみ使用

(2) 事業期間 平成 27～28 年度 モデル園（6 園）事業の実施

【モデル園】五荘奈佐幼稚園、城崎こども園、竹野認定こども園、みかたの森こども園、小坂幼稚園、合橋認定こども園

平成 29 年度～ 市内全園で巡回指導

(3) 事業主体 豊岡市

(4) 全体事業費

平成 27～28 年度	モデル園事業	10,603 千円
平成 29 年度～	全園展開	28,636 千円／年

3 28 年度予算

(1) 予算額

5,759 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

(2) 事業内容

- ア モデル園（6 園）への英語遊び保育講師派遣
- イ 豊岡市英語遊び保育プログラム策定
- ウ モデル園以外での英語遊び保育体験（講師派遣）

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

施策体系番号 4-1-1-5

No.38	事業名	子どもたちが豊岡で世界と 出会う音楽祭開催事業	28年度 予算額	8,220 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0303、0404				

1 事業目的（趣旨）

子どもたちが、世界で活躍する音楽家と触れ合う機会を通じて、豊岡に居ながらにして世界とつながることができる、そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもを育てるとともに、大人も一緒に楽しめるクラシック音楽があふれるまちづくりを目指す。

地方創生総合戦略「移住・定住促進に係る戦略」の中の具体的手段“世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる”及び“子どもたちの想像の翼、行動の翼が世界に羽ばたいている”の一環とする。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア おんぷの祭典 11月8日（火）～13日（日）6日間

世界各地で活躍する音楽家や、名匠の手によって製作された楽器等との貴重な出会いの機会を通して、子どもたちの感性を育み、夢を開き、何事にも挑戦するきっかけづくりと、新たな豊岡市の魅力を創出する。

○学校訪問コンサート（無料）10小学校、街角コンサート（無料）6ヶ所

○ホールコンサート（有料）2ヶ所、サロンコンサート（有料）1ヶ所

○子どもたちのためのコンサート（無料）1ヶ所（注）内容変更の可能性あり

※企画、実施は、子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭実行委員会（市民有志25名）が主体となり、市民主導で持続可能な運営を目指す。

イ ふれあいコンサート 7月31日（日）

式町水晶氏を招聘する。式町氏はヴァイオリンにより障害を克服してきたこと、東日本大震災復興支援活動を通じて“命の大切さ”を訴えてきたことから、コンサート等を通して障害者等へ勇気と熱いメッセージを送る。

○障がい者対象施設訪問コンサート（無料）1ヶ所

○一般ホールコンサート（有料）1ヶ所

(2) 事業期間

ア おんぷの祭典 平成26年度～平成35年度（10年間継続）

イ ふれあいコンサート 平成28年度～平成30年度（3年間継続予定）

(3) 事業主体

ア おんぷの祭典 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭実行委員会、豊岡市、豊岡市教育委員会

イ ふれあいコンサート 豊岡市、豊岡市教育委員会

3 28年度予算

(1) 予算額 8,220千円

（文化芸術振興費補助金 補助率：補助対象額の1/2）

ア おんぷの祭典 7,320千円

イ ふれあいコンサート 900千円



担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

施策体系番号 4-1-2-3

No.39	事業名	こども支援センター機能充実事業（モデル校区研究授業）	28年度 予算額	354 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0405				

1 事業目的（趣旨）

ふるさと豊岡を愛し、夢の実現に向け挑戦する子どもを育成する。

「支援の要らない子は一人もいない」という理念に沿い、一人一人の子どもの発達課題に応じた寄り添い方の質を高めることによって、子どもたちの夢実現力を高め、学力の二極化や不登校等の教育課題の改善を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ・スーパーバイザーの指導の下に、子どもたちの発達課題を把握し、日々の授業や生活における支援・指導の留意点を明らかにし、子どもへの寄り添い方の質を高める。
モデル校区小中学校の訪問指導、職員研修の実施
- ・スーパーバイザーの指導の下に、中学校において授業のユニバーサルデザイン化の授業研究を公開校内研修会として行い、授業の質を高める支援の研究を行う。

(2) 事業期間

平成 27～28 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

1,693 千円

3 28 年度予算

(1) 予算額

354 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

(2) 事業内容

- ・日高東中学校区の小中学校をモデル地区とし、スーパーバイザーの訪問指導（8 回）。
- ・こども支援センターでの研修会（2 回）を実施。

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

スーパーバイザー … 関西国際大学教育学部 中尾 繁樹教授
特別支援教育、発達心理学専攻
障害者教育総論、LD（学習障害）重度重複障害児研究等専門

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

施策体系番号 4-1-3-3

No.40	事業名	家庭教育推進事業 (FMジャングル 夢チャレンジ)	28年度 予算額	810 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	A 0405				

1 事業目的（趣旨）

ふるさと豊岡を愛し、夢の実現に向け挑戦する子どもの姿を広く市民の方に広報し、まち全体で豊岡の子どもを応援するため、なりたい自分になる（「夢実現力」）ためにがんばっている子どもの様子をFMジャングルの市政情報提供番組で取材し、放送を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

FMジャングルの活用による子育て情報等を発信する。

- ・対 象 者 豊岡市の子ども全員
- ・事業内容 豊岡の子ども達が、いろいろな行事やイベント等（入学、新学期、運動会、マラソン大会、発表会、書初め、トライやる、生徒会リーダー研修会等）の機会に、FMジャングルの番組内で「今、頑張っていること」「将来の夢」を発表する。

(2) 事業期間

平成 27 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

810 千円

（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

(2) 事業内容

- ・夢チャレンジ がんばってるね！「元気なとよおかチルドレン！！」
- ・15 分番組（本放送 1 回・再放送 2 回（朝・夕などの時間））

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

施策体系番号 4-1-1-3

No. 41	事業名 結婚促進支援事業 (婚活イベント)	28年度 予算額	8,207 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	B 0101、0102			

1 事業目的（趣旨）

人口減少抑制対策を進めるため、平成 27 年度に策定した「豊岡市地方創生総合戦略」の 2 本柱の一つである、結婚促進・多子出産に係る戦略の一環として、結婚促進支援事業を実施し、豊岡市の婚活機運の醸成を促し、婚姻数の増加を目指す。

2 全体の事業内容

(1) 事業期間

平成 28 年度～

(2) 事業主体

社会福祉法人 豊岡市社会福祉協議会

3 28 年度予算

(1) 予算額

8,207 千円（社会福祉協議会への補助金）

（少子化対策重点推進交付金）

補助率：交付対象額の 1/2）



(2) 事業内容

豊岡市社会福祉協議会が運営する豊岡市婚活応援プロジェクト「はーとピー」事業等への支援を拡充し、より効果的な事業を展開する。

① 婚活イベントの開催

現在月 1 回行っている婚活イベント回数を年間 20 回に増やし、更にカップル数の増加を目指す。

② 結婚相談員によるマッチング

旧市町地域単位に設置されている結婚相談員（24 名）の活動を支援し、相談員同士の情報共有を進め、さらに、近隣市町とも広域的に連携しマッチングの機会を広げることにより成婚につなげやすくする。

③ 婚活セミナーの開催

講師を招き、結婚を希望する男性、女性の魅力アップのためのセミナーの開催を支援する。

担当課名【社会福祉課】（内線 3001）

施策体系番号 3-3-1-2

No. 42	事業名	出会い機会創出事業・結婚促進体制整備事業	28 年度 予算額	3,262 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	B 0101、0102				

1 事業目的（趣旨）

人口減少抑制対策を進めるため、平成 27 年度に策定した「豊岡市地方創生総合戦略」の 2 本柱の一つである、結婚促進・多子出産に係る戦略の一環として、出会い機会創出事業を実施し、豊岡市の婚活機運の醸成を促し、婚姻数の増加を目指す。

2 全体の事業内容

(1) 事業期間

平成 28 年度～

(2) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

3,262 千円（少子化対策重点推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

(2) 事業内容

民間団体が提案する出会い機会イベントの開催への支援等を行うとともに、行政、民間団体、研究機関等による連携ネットワークを構築し、結婚促進に係るより効果的な対策を検討し、展開していく。

① 企業間の婚活イベントへの支援

企業間交流（婚活）を目的としたイベント開催を支援する。

② 民間団体による自主的なイベント開催への支援

NPO 団体、農協、地域コミュニティ団体等が提案する婚活事業への支援

③ 民間事業者との共催事業

民間事業者と共催し、婚活イベントを開催する。

④ ネットワーク構築事業

行政、民間団体、研究機関等が協働しネットワークを構築し、イベントの発案、をはじめ、結婚促進のためのさまざまな対策を検討し展開していく。

担当課名【社会福祉課】（内線 3001）

施策体系番号 3-3-1-2

No.43	事業名	母子保健事業 (特定不妊治療助成等)	28 年度 予算額	19,998 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	B 0201				

1 事業目的（趣旨）

地方創生の一環として、新たに「妊婦歯科健康診査事業」、「不育症治療費助成事業」の創設及び「特定不妊治療費助成事業」の拡充を図り、子どもを産み育てやすい環境を整備し人口減少対策につなげる。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

① 妊婦歯科健診事業（新規）

妊婦歯科健康診査を、豊岡市歯科医師会協力医療機関での個別受診で行う。

② 不育症治療費助成事業（新規）

不育症の検査や治療にかかる医療費に対する助成を行う。

③ 特定不妊治療費助成事業の拡充

県の助成制度に市独自の助成金を上乗せする。助成回数、助成可能年齢は県の制度に準じ、上限額を1年度あたり20万円から1回あたり20万円に改める。

(2) 事業期間

平成28年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

19,998 千円

(2) 事業内容

① 妊婦歯科健診事業

妊婦の歯周組織検査費用を、1回の妊娠につき1回公費負担とする。

② 不育症治療費助成事業

対象となる経費の1/2（1年度あたり1回）を助成する。

③ 特定不妊治療費助成事業

1年度あたり20万円の上限額を撤廃し、治療回数制限は国に準じた上で、1回あたり20万円を上乗せする。

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

総額 19,998 千円、うち地方創生分 19,400 千円

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

施策体系番号 4-1-1-3

No.44	事業名	ファミリー・サポート・センター事業	28年度 予算額	328 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	B 0202、0203				

1 事業目的（趣旨）

ファミリー・サポート・センターは、子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者と、支援を行いたい者の会員組織である。

保護者の仕事の都合などにより、保育所等の送迎や子どもの預かりなどを会員同士で相互援助することにより、核家族世帯や共働き世帯の保護者も働きながら子育てがしやすい環境づくりを図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

会員同士の相互援助を円滑に図れるよう、専任のアドバイザーを配置して、会員のマッチング、会員研修、会員交流事業などを行う。

(2) 事業期間

平成 28 年度 事業内容の検討など事前準備
平成 29 年度～ ファミリー・サポート・センター設置

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

平成 28 年度 事前準備 328 千円
平成 29 年度～ センター事業実施 4,000 千円程度／年

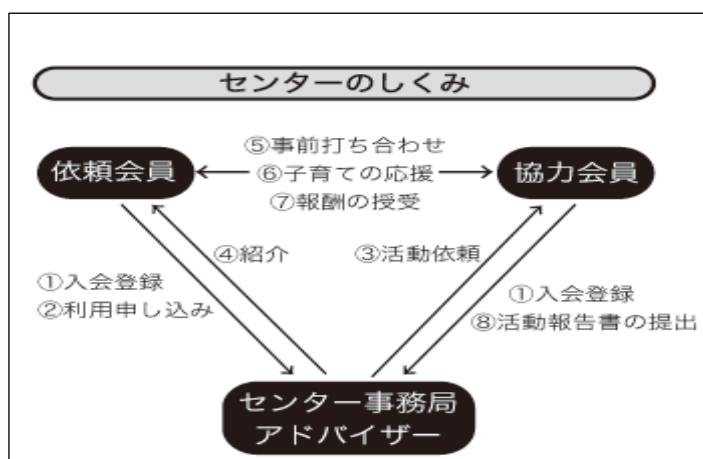
3 28 年度予算

(1) 予算額 328 千円

(2) 事業内容

ア 先進地視察
イ ファミリー・サポート・センター事業研修
ウ 事業内容検討事務

4 その他参考資料（事業内容の詳細等）



担当課名【こども育成課】（内線 2531）

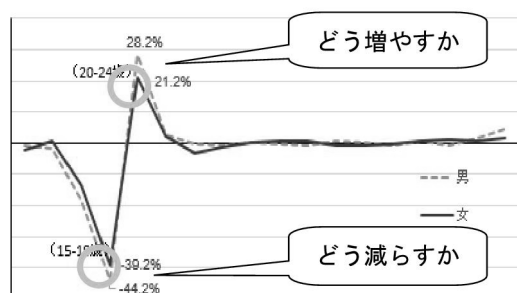
No.45	事業名 地方創生推進費	28 年度 予算額	8,164 千円	新規 拡大 継続
戦略・手段	—			

1 事業目的（趣旨）

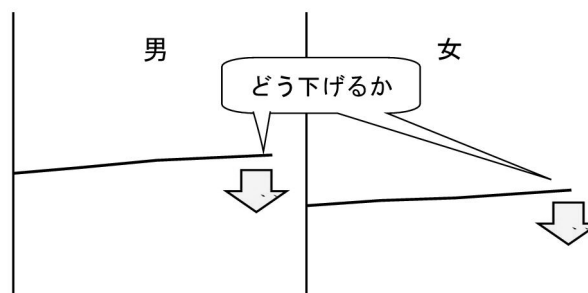
本市の人口減少の量的緩和及び地域活力の維持の質的転換による地方創生を効果的に進めるため、市民理解を深めるための施策を行うとともに、人口推移等の分析や検証を行いながら、総合戦略の的確な進行管理を行う。

- 上位目的：「豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている。」
- ・ 戦略目的 A：「移住・定住促進」（図 1）
目標：若者回復率 35% → 2025 年までに 50%
- ・ 戦略目的 B：「結婚促進・多子出産促進」（図 2）
目標：合計特殊出生率 1.82 → 2035 年までに 2.3

【図 1】年齢性別・純移動率



【図 2】男女別・未婚率



2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ア 豊岡市地方創生戦略会議の開催、各種検証・分析業務
- イ 地方創生に係る市民フォーラムや各種説明会等の開催
- ウ 移住者アンケート調査業務

(2) 事業期間

平成 28 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

8,164 千円

(2) 事業内容

- ア 豊岡市地方創生戦略会議の開催、各種検証・分析業務、戦略アドバイザー、推進アドバイザー 3,605 千円
- イ 地方創生に係る市民フォーラムや各種説明会等の開催 1,114 千円
- ウ 移住者アンケート調査業務 3,445 千円

担当課名【地方創生課】（内線 2091）

施策体系番号 6-1-1-7